

施 工 要 領 書

モルタル浮き補修

アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

ヤブ原産業株式会社

〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷546

TEL 048-297-4111

モルタル浮き補修

アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

施工方法

- ハンマー打診により浮き上がり間隙と範囲を確認し、注入孔を決め、スプレーペンキ、チョーク等でマーキングする。
一般部分のアンカーピン本数は16本/㎡とし、指定部分（庇の鼻、見上げ面、まぐさ隅角部分等）は25本/㎡とする。狭幅部には幅中央に200mmピッチとする。
アンカーピンとしてステンレスピンSUS304（4φまたは5φ×50mm）全ネジ切を使用する。
- アンカーピン挿入部の穿孔は、直径6mmのコンクリート用ドリルビットを使用し、壁面に対し直角に穿孔する。穿孔はマーキングにしたがって行い、コンクリート躯体の中30mm程度、モルタル表面から50mm以上とする。
- 穿孔した孔内を、ハンドブローア等を使用して切粉等を除去し孔内を乾燥させる。
- エポキシ樹脂SSSボンド#1000の主剤200gと硬化剤100gを均一になるまで混練してから注入ポンプにセットする。
注入ポンプのノズル先端にウエス（4×4cm程度）を当て、そのまま注入孔に差し込んで注入状態を確認しながら最深部よりゆっくりと注入する。1孔30g程度。
- エポキシ樹脂注入後直ちに、ステンレスピンのネジ切り部分にエポキシ樹脂SSSボンド#1000を塗布してから、気泡の巻き込みに注意して最深部まで挿入する。
- 注入口をエポキシパテまたはカチオン性SBR樹脂モルタルで埋める。
- 養生は夏期で24時間程度、冬期で96時間程度、衝撃を与えないようにし、降雨等からも養生する。
- 注入部以外に付着した材料はサンダー、ハンマー、カワスキ等で除去し清掃する。
- アンカーピン固定部のエポキシ樹脂の広がり、固着状況について全数テストハンマーの打診により確認し、結果を監督員に報告し承諾を得る。

注意事項

- 注入箇所は乾燥した状態で注入を行う。施工後の養生は夏期24時間、冬期96時間、衝撃や振動を与えないようにする。
- 主剤と硬化剤を均一に混練し、混練後の材料は可使時間以内に使用する。
35℃ #1000 32分、#700 20分、#500 30分
23℃ #1000 80分、#700 25分、#500 45分
気温が高い場合は材料を冷却してから混練する。
- 5℃以下での施工は避ける。
- エポキシ樹脂で皮膚がかぶれた場合はただちに作業を中止し、医師の診断を受ける。
- 注入材はエポキシ樹脂ですので、露出状態で直射日光を受けると黄変しますのでご注意ください。

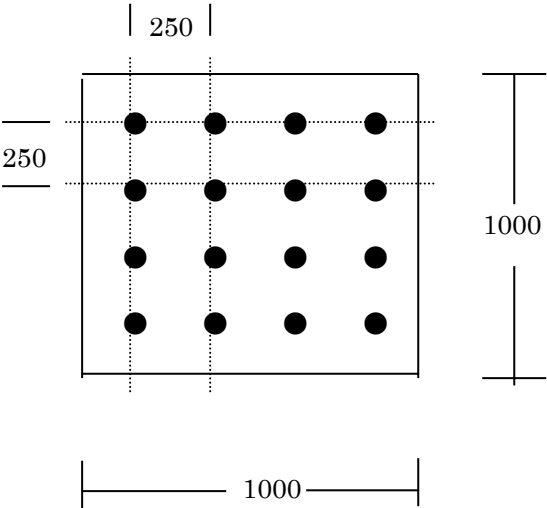
材 料

| | |
|---------------------------------|-----------|
| S S Sボンド#1000（J I S A6024 高粘度形） | 300 g set |
| カチオンタイトF（カチオン性SBR樹脂モルタル） | 20 kg set |
| ステンレスピン4φ×50mm（SUS304） | |

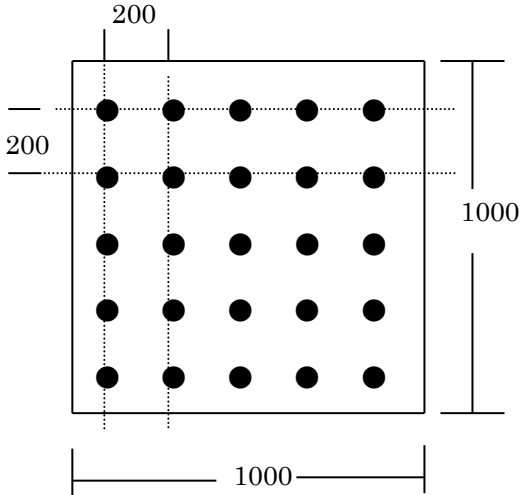
ステンレスピン 5φ×50mm (SUS304)

標準配置グリッド (アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法)

①一般部分標準グリッド (250×250)



②指定部分標準グリッド (200×200)
(庇の鼻、見上げ面、まぐさ隅角部分等)



③狭幅部

